

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	きずかな・こどもの発達支援教室		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 10日		～ R8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45人	(回答者数) 32人
○従業者評価実施期間	R7年 2月 10日		～ R8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の作成プロセスニーズと課題の客観的分析が高く評価 療育・コグトレの効果を回答者が全員が効果あり評価 活動プログラムの工夫(固定化していないイベント案)	利用者ごとに分析し、得意分野を伸ばす取り組みを行っている	療育内容の発展 新規療育プログラムの検討 既存プログラムの評価・改善 個別ニーズに応じたプログラムの開発
2	保護者との連携 面談・進路の相談	保護者に悩みがあれば可能な限りいつでも相談に乗れる体制を心がけている	進学先、就労先の情報提供
3	支援全般への高い満足度 子どもの通所への積極性	療育にしっかり重きを置きつつも楽しめる場所でもある事を意識してどうすれば楽しめるかを考えながら日々の療育、支援にあたっている	今までの固定観念にとらわれない利用児童が楽しみ活動してくれるプログラム、療育内容、イベント案の策定

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族等が参加できる研修会や交流会の機会が少ない	日々の業務がひっ迫しやすい。人的余裕が確保しにくい	交流会では無く情報共有会の開催
2	地域連携・交流の不足 障害のない子どもとの交流機会不足 非常時対応の体制	地域の社会資源を十分把握できていない。 一般地域の人との怪我、トラブルのリスクを考えると積極的には地域との交流をしていない。 地域での受け入れが少なく、感染対策を考慮すると開催が難しい。	地域連携の促進 非常時対応の体制強化 地域の児童施設との連携体制の構築 交流イベントの定期的な開催 地域資源の活用計画の策定
3			